

Medical Net News

Vol. 54 (令和5年7月)

独立行政法人労働者健康安全機構

神戸労災病院

神戸労災病院 代表電話：078-231-5901

地域医療推進室 直通電話：078-231-5925

ファックス：078-231-5926

ホームページ：<https://www.kobeh.johas.go.jp>



副院長就任のご挨拶

神戸労災病院 副院長・麻酔科部長 入江 潤

この度**副院長**に就任いたしました**入江潤**と申します。

私は1987年に産業医科大学を卒業し、大学助手などを経たのち1992年より神戸労災病院に赴任し、麻酔科、ペインクリニックを専門として30年余り当院に勤務してまいりました。この間、医療はどんどん進歩し、医療材料、薬剤、チーム医療の進歩には目を見張るものがあります。

麻酔関連の薬剤には多く関わってきましたが、中でも今ではごく普通の鎮痛薬である**トラマドール**を20年前に前部長の裏辻医師らと術後鎮痛、神経障害性疼痛、緩和ケア領域の**鎮痛薬として臨床に導入した**のはいい思い出となっています。この経験を生かして現在に至るまで周術期の鎮痛やペインクリニック領域でトラマドールを愛用しています。

また、当院には**区域麻酔のスペシャリスト2名**を擁し、特に**エコーガイド下の末梢神経ブロック**を用い、より繊細な、オーダーメイドな術後鎮痛、痛みの治療を行っています。私自身もいろいろと教わる事が多く、日々勉強になっています。もし、痛みでお困りの患者様がいらっしゃればご紹介ください。

私が当院に赴任した当時、常勤医師は50名程度と今の半分の人数で思い返せば、いわゆる縦割りの医療が行われていました。現在は、医師数も100名に増え、様々な専門医、そして看護師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、放射線技師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士が関わり、**チーム医療**が行われ医療の質を支えています。個人に対する最先端の医療は重要ですが、チーム医療を通じて**地域全体の医療の質の向上**させることはさらに重要です。そして、チーム医療を実行するうえでは、**いかに公平に様々な職種の人に接するか**が重要となってきます。

麻酔科医は中央診療部門に近い存在で手術室では、外科系診療科と長い時間一緒に働いていますし、集中治療室では内科系医師と仕事をします。このため周術期、集中治療を通じて多くの患者に横断的に関与でき、各専門領域で起きている問題を把握しやすく、これにより**様々な職種の方々に公平に接しやすい環境**にあります。

このような、麻酔科の特徴を生かして病院の経営や**地域医療の発展**に尽くしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。



神戸労災病院整形外科部長着任のご挨拶

— 国内における脊椎外科のリーダーとしての自覚と今後の展望 —

神戸労災病院 整形外科部長 宮本 裕史



令和5年4月より、神戸労災病院**整形外科部長**として赴任いたしました**宮本裕史**（みやもとひろし）です。

まず、私の経歴を簡単にご紹介します。私は平成3年（1991年）に神戸大学医学部を卒業し、その後神戸大学付属病院を筆頭に、神戸大学整形外科の関連施設で研修を積んでまいりました。

2000年2月からはカナダのQueen's大学に脊椎関連の研究のため2年4ヶ月間留学しました。また、2002年にはUniversity of California San Diegoの脊椎センターにtravelling fellowとして訪問し、海外での臨床の現場から多くを学びました。その後、神戸大学整形外科の助手を経て、国立病院機構神戸医療センターに約10年間勤務し、脊椎外科の研鑽を積みしました。その後、2013年に近畿大学に異動、2016年6月からは准教授、2022年6月からは教授を拝命し、**10年間脊椎班のリーダーとして**勤務致しました。この度、10年ぶりにホームの地に戻ってきたという安堵を感じながら日々勤務させていただいております。

正しい診断のもと、患者様一人一人に合った必要十分な治療を行ってまいりました。

頭蓋頸椎間から仙椎に至る**すべての脊椎領域の病態に対応が可能**であり、手術も内視鏡手術から脊椎内固定材料を用いた大手術（図1）に至るまで、幅広く行います。中でも特に頸椎外科の難治症例、例えば頸椎後弯などの**変形を伴った疾患に対する矯正固定手術を得意**としており（図2）、この分野においては**我が国のトップランナーの一人**として認知されています。他都道府県の大学病院や中核病院からの手術依頼も数多くあります。

最近では、**国内外の学会で招待講演を行う**機会も増えました。近年は脊椎外科領域でもより安全面でのニーズが高まり、神戸労災病院でも脊椎ナビゲーションや脊髓モニタリングを積極的に導入していこうと考えています。

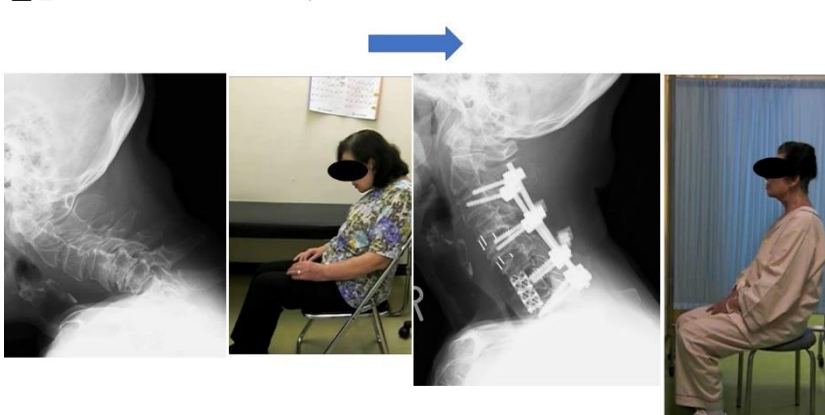
神戸の脊椎グループは、従来より国内外でその**臨床力を高く評価**されており、私もその中で育てていただいた一人です。日本における脊椎外科のいちリーダーとなった現在、国内外にその臨床成績を報告し続けるのはもちろんのこと、自身の経験を神戸脊椎グループに還元し、またさらなる地域医療の貢献に努めて参りたいと思います。

図1



図2

79歳、女性 首下がり症候群



着任のご挨拶と患者さんご紹介のお願い

神戸労災病院 呼吸器内科副部長 川端 宏樹



ご挨拶

この4月より呼吸器内科に着任しました川端宏樹と申します。

私は和歌山県出身で、平成19年に大阪医科大学（現 大阪医科大学）医学部を卒業しました。和歌山県立医科大学付属病院呼吸器・アレルギー内科で学位取得後、平成26年より産業医科大学医学部呼吸器内科学に移り、以後は喘息・COPDを中心に、呼吸器疾患全般の診療を担当して参りました。

この度神戸労災病院呼吸器内科への赴任のお話を頂き、7年ぶりに近畿地方に戻って参りました。微力ながら神戸の呼吸器診療の一端を担えるよう尽力する所存です。どうぞよろしくお願い致します。

当院呼吸器内科の紹介

当院では永らく呼吸器内科医不足の状態が続いておりましたが、ここ数年で徐々に増員となり、今年度は**医師6名体制**となりました。月～金曜日の平日は毎日、**呼吸器専門医**による外来診療を行っています。



診療内容の充実も図っており、呼吸器疾患のうち患者数が最多の肺がんについては、**超音波ガイド下気管支内視鏡検査**による組織診断から、最新のガイドラインに則った**標準治療**を行うことが可能です。

また当院には呼吸器外科医も在籍しておりますので、手術を要する気胸や膿胸については速やかに**手術**が可能ですし、難治性の喀血に対する気管支動脈塞栓術も施行可能です。

間質性肺炎等の難治性疾患が多いびまん性肺疾患についても、各種ガイドラインに基づいた診療を心掛けておりますし、肺の生活習慣病と言われる慢性閉塞性肺疾患（COPD）については、患者さんのコンプライアンス向上を目的として、臨床研究への参加を積極的にお勧めしています。

近年増加している気管支喘息や過敏性肺炎などの環境やストレスに由来する疾患に対しても、各個人の病態に応じてきめ細かく治療方針を決定した上で、環境整備を含めて長期間に渡って指導を行っています。

治療抵抗性の難治性喘息に対しては**生物学的製剤**の導入も積極的に行っております。

近年社会問題化している「睡眠時無呼吸症候群」についても、入院での**終夜ポリグラフ検査（PSG検査）**による確定診断からCPAP導入まで行っています。

当科では以上の通り診療体制を整えて先生方のご紹介をお待ちしておりますので、先生方のかかりつけの患者さんの呼吸器症状や胸部異常陰影でお困りの際は、ぜひ当科にご紹介頂けますと幸いです。

お知らせ

●認知症鑑別各種検査、その他各種シンチ承ります！

当院では、認知症の鑑別に有用な以下の検査について、**一般外来を経由しない「検査のみ」のご予約**としてご利用になれます。CTやMRIと同じ感覚でご利用になれますので、ご入用の際は、是非地域医療推進室までご相談ください。

★ 頭部MRI・MRA（VSRAD）＋脳血流シンチ（全て同日に実施）

★ DATスキャン

★ ミオMIBGシンチ

結果につきましては、原則翌営業日（金曜撮影の場合は月曜日）に放射線科医の所見と画像CD-ROMを併せて発送いたします。

特殊な医薬品（放射性同位元素）を用いて撮影します。半減期の関係上、撮影当日病院着となるよう東京から取り寄せていますので、**当日キャンセルはお受けしかねます**（自費にて費用をご負担いただく場合があります）。キャンセルの際は、必ず**前営業日の午前中まで**にご一報願います。

その他、**心筋シンチ、骨シンチ、ガリウムシンチ等、認知症鑑別以外のシンチ**もご相談いただけます。まずは地域医療推進室までご相談ください。

●医療従事者向けオンライン研修のお知らせ

研修会名： Meet The Rosai via ZOOM

日時： 令和5年7月26日（水）18時～（1時間程度）

演題： 脊椎手術－難治症例への挑戦－

カリキュラムコード：15【1単位】

（講師：整形外科部長 宮本裕史）

申込先：chiiki@kobe.h.johas.go.jp

（地域医療推進室）

申込期日： 7月26日（研修会当日）12時まで

医療従事者であればどなたでも視聴できます。視聴を希望の方は左記申込先アドレスまで

①所属施設名

②職種

③氏名

④案内返信用アドレス

⑤医籍登録番号

（生涯教育単位申請希望者のみ）

をメール本文に記入の上、お申し込みください。

後日研修会当日のミーティングID、パスコード、URL、視聴方法等をお送りいたします。

メール会員募集！！

神戸労災病院では**メール会員を募集**しています。現在は、研修会の案内をメールでお知らせすることがほとんどですが、今後、簡単な院内のトピックスのお知らせやメールマガジンの配信等を検討しています。ご希望の方は上記**地域医療推進室アドレス**まで「メール会員登録希望！！」とお知らせください。



お願い

ご予約の連絡をいただいた当日中に、診療情報（紹介状）と患者保険情報のコピーを地域医療推進室宛てにFAXしていただきますようご協力よろしくお願い致します。



神戸労災病院 地域医療推進室

TEL：078-231-5925

FAX：078-231-5926

開室時間 平日 8:15～19:00 土曜 8:30～12:30

（17時以降および土曜は診察・検査予約のみ）

▶診療情報提供書等ご送付いただく際は、封筒に「診療情報提供書在中」とご明記ください。